



かがやけ！春日っ子

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



第1回 学校運営協議会の開催より ～「みとめて、ほめて、よろこぶ」を合言葉に～

第1回学校運営協議会が、16日（月）に行われました。

学校運営協議会とは、本校コミュニティ・スクールの根幹をなす組織です。年間6回行われるこの協議会において、学校・家庭・地域の役割やかかわり等を明らかにし、連携・協働の取組を中心にしながら、春日小学校の教育活動が展開されていきます。

今回は、組織づくり、年間計画等の確認を行いました。

コミュニティ・スクールとしての、本年度学校、家庭、地域で共通してのかかわりが、「みとめて、ほめて、よろこぶ」です。これは、本校の教育目標「地域を愛し、たくましく生き抜く子どもの育成」を達成するためのかかわりです。

「みとめること」は、承認の欲求などと言いますが、その人のよさを認めてあげることが、自己肯定感や自尊感情が高まり、次への意欲につながります。

また「ほめる」ことは、自信とやる気を与えられます。周りから、期待されることにより伸びることを「ピグマリオン効果」と言います。大人もほめられたら嬉しいものです。学校だけでなく、地域や家庭で大いにほめることは、その効果が大きくなるものと考えます。

最後は「よろこぶ」です。できたこと、できるようになったことを子供と一緒に大人も喜ぶことで、達成感が生まれ、さらに次への意欲がわくと考えます。

子供が一步一步高まっている、自分が育っているという実感、つまり、自分が伸びていると感じることは、人を生き生きとさせてくれるものと思います。子供の成長と一緒に喜びたいものです。

この「みとめて、ほめて、よろこぶ」のかかわりが、学校でも、家庭でも、地域でもできれば、私はきっと本校が目指す「たくましい子供」になると考えています。

子供の成長を中心に据えて、目標を共有し、3者（学校・家庭・地域）で育てることが、コミュニティ・スクールです。地域の「もの・人・こと」を活用しながら、「地域の宝」である子供を育てていきましょう。

1年間、どうぞよろしくお願いたします。

